

# 守れ！三原やっさタコ！

～タコかるたで魅力や危機を伝えよう～

育成をめざす資質・能力：主体性 協働性 探究力 論理的思考力・表現力 知識・技能

## 1 単元について

### 地域や学校の特色と教師の願い

三原の海はタコが生息するのに最適な環境が整っており、江戸時代からタコ漁が盛んに行われてきていた。タコ漁は代々世襲によって引き継がれ、三原の漁師たちは漁場を大切に保ちながらタコと共存し、独自のタコ文化を育んでいる。三原市民にとって三原の特産物がタコであることは周知の事実である一方で、タコ漁の歴史や近年の取組を知っている市民は少なく、高齢化が進み、三原のタコの漁獲量も年々減少している。本校は、三原港や三原市漁業組合が徒歩圏内にあり、瀬戸内の海を身近に感じられる環境ではあるが、海に興味を持つ児童は限られている。

本単元では、三原のタコを調べながら三原の特産であるタコを好きになると共に、三原のタコ漁が抱える課題等を知り、課題解決に向けた活動を仕組んでいきたい。そして、タコ漁に関する様々な取組を考える中で、郷土愛を育み、郷土への誇りをもつ児童に育ってほしい。

### 児童の実態

本学級の児童は、昨年度の総合的な学習の時間で、やっさ祭りを盛り上げるため、歌や踊り、地方の練習を重ねることを通して、地域への愛着を深めてきた。今年度は、児童の一番興味・関心が高かった三原のタコについて、探究していく。児童は、三原のタコに興味・関心は高いが、三原のタコ漁の歴史やよさ、諸問題等、知らないことが多いのが現状である。

7月のアンケート調査では、論理的思考力・表現力に関して、「相手が納得するように工夫をして、伝えている」と回答した児童82.7%で、強い肯定を示した児童は48%程度であった。半数以上の児童は強い肯定を示すほど自信はなく、相手が納得するように工夫して表現することに課題があると分かる。また、「友達と学び合うことは意味のある学習だと思っている」と強い肯定を示した児童は76%である一方で、友達の考えと関連付けたり比較したりして自分の考えを表現できていると強い肯定を示した児童は50.7%と低い結果だった。

### 学習の題材

本題材では、三原の特産物「やっさタコ」をテーマとして学習に取り組んでいく。三原のタコについて疑問を出し合い、自分達で調べる学習からスタートする。自分達では分からないことや解決できないことに出会う中で、児童は、「タコについてもっと詳しく知りたい」という思いを抱き、仮の探究課題を「目指せ！三原のタコ博士！」と設定する。本やインターネットで調べたり、水産教室に参加したりして、タコや三原のタコ漁を多面的に捉えながら独自のタコ文化を築いてきた地域社会への理解を深める。探究を進める過程で、やっさタコへの愛着を深める一方、漁獲量の減少に伴ってタコつぼ漁の規模が縮小されている現状（船を出す回数やタコつぼの数の減少）や、漁師の後継者不足、高齢化が課題になっている事実を知った児童は、「やっさタコやタコつぼ漁を守るために自分達にできることをしたい」という思いを抱き、真の探究課題を「守れ！三原やっさタコ！」と設定する。やっさタコやタコつぼ漁に関する課題や危機に対して、自分達にできることを「漁師さんの手助け」「環境の改善」「やっさタコやタコつぼ漁の魅力や危機の発信」という3つの方向性に整理する。具体的な取組を計画する中で、受け手も主体的に楽しむことができる表現方法としてかるたを取り上げ、かるたを用いた情報発信について取り組んでいく。このような課題解決の過程の中で、目的や意図に応じて情報を収集、整理し、要因などを予測しながら論理的に考えたり、解決策等、自分の考えを主体的に表現したりする力を高めることができる題材と言える。

### 単元の目標

三原の特産物・タコに関わったり、タコつぼ漁を守る方策や環境保全に向けた取組を考えたりすることを通して、地域のよさやそれを支える人々の願いや努力を理解し、持続可能な視点から今後の三原のタコ漁や環境保全の在り方について考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

## 2 「見方・考え方」を働かせ、深く学び合う指導の手立て

### (1) 総合的な学習の時間における「見方・考え方」を働かせる手立て

#### ○広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉えるために

三原市漁業協同組合や地域の方から話を聞いたり、新聞記事やニュース等を参考にしたりして、多様な角度から三原のタコを取り巻く課題の本質を捉えられるようにする。

#### ○実社会・実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けるために

自分達の生活と三原のタコを関連付けて考えられるよう、様々な角度からタコについて調べて友達と交流し、自分達の生活との関わりを見つけたり、課題を解決するために自分達にできることを考えさせたりすることで、自己の生き方につなげていく。

### (2) カリキュラムマネジメントを通して、各教科等における「見方・考え方」を総合的に働かせる手立て

#### ○国語科…「新聞記事を読み比べよう」

タコについて掲載されている新聞記事を読んでタコ漁の諸課題を発見できるよう、新聞の読み方や比べ方について国語科での指導を総合的な学習の時間に生かす。

#### ○社会科…「わたしたちの国土」「あたたかい土地の暮らし」「水産業のさかんな地域」等

社会科の学習において、全国の漁獲量や三原の漁獲量、様々な漁業の方法や近年の漁業の動向を確認する。また、タコ漁が盛んである三原の地形や気候の条件をまとめたり、他の地域の漁業と比較したりすることを通して、三原市のタコ漁にかかわる取組やどのような課題解決の方法があるかを考えたりすることに活用する。

### (3) 学習ツールの活用

#### ○ICT機器

本学級の児童は、今までに、ジャムボードを使って考えを出し合ったり、動画を作成して学習したことをまとめたりする学習経験を積んでいる。しかし、タイピング能力の差が大きく、ICT 機器の操作に時間を要するのが現状である。どの児童も、効果的に ICT 機器が活用できるように、不自由なく操作できる技能を身に付けさせたい。

本単元の ICT 機器の活用は次の通りである。

- ・課題の設定…知りたいことや調べたいことの内容をジャムボードやフォーム等で集約する。
- ・情報の収集…知りたいことを課題解決するために、検索機能を活用する。また、状況に合わせてミートを活用して出前講座を行う。
- ・整理・分析…多くの情報を焦点化したり、分類したりする場面で、友達と意見を交流するためにジャムボードを活用する。
- ・まとめ・表現…カメラ、動画、スライド、ドキュメントの機能等様々な方法から、児童が効果的だと思う方法を選んで、成果を発表する。

#### ○思考ツール

本学級の児童は、総合的な学習の時間、国語科、社会科、学活等の学習場面で思考ツールを活用している。教師と共に、思考ツールの目的や使い方を確認しながら活用することで、少しずつよさを実感しているところである。しかし、児童が自主的かつ効果的に思考ツールを使うまでには至っていない。したがって、使った思考ツールとその用途（使える場面）を掲示していき、児童がいつでも使えるようにしておく。

- ・意見を広げる場面…イメージマップ
- ・多くの質問や考えを分類する場面…Xチャート
- ・自分の意見を焦点化・構造化する場面…ピラミッドチャート
- ・具体的な取組や方法を考え、整理する場面…フィッシュボーン

### 3 単元の評価

#### (1) 内容のまとめりごとの評価規準

※太枠は本校で重点的に育成を図る資質・能力

評価の観点		学習活動（小単元）における評価規準	
知識・技能	知識	地域の特産物に関する知識を関連付けて構造化し、統合化された概念として理解している。	
	技能	探究の過程における ICT 機器や思考ツール等、課題解決の技能を習得し、日常の様々な場面で活用している。	
	探究的な学習のよさの理解	学習と生活のつながりを意識し、学習を振り返ることで、探究的な学習のよさを理解している。	
思考・判断・表現	「課題の設定」	探究力	地域の特産物に関するよさや問題点から問いをもち、課題を設定している。
	「情報の収集」		本やインターネット等を活用し、必要な情報を多様な方法で収集する中で、問いを更新している。
	「整理・分析」	論理的思考力・表現力	目的に合う方法で筋道立てて思考し、情報の共通点や相違点を見つけ、情報から分かることや言えることを明らかにしている。 情報や事象を比較したり関連付けたりして、意見を主張する際に、確かな理由や根拠を表現している。
	「まとめ・表現」		相手や目的に応じて、情報を精査し、効果的な表現をしている。
主体的に学習に取り組む態度	自己理解・他者理解	活動の中で、自分の特徴やよさを理解しようとしている。 異なる意見や他者の考えを受け入れ、尊重しようとしている。	
	主体性・協働性	主体性	自分で課題を決めて、目的に合う方法を選択し、課題を解決しようとしている。
		協働性	目的を考えて自他の意見を大切にしながら友達と話し合い、一緒に行動しようとしている。
	将来展望・社会参画	実社会、実生活の課題解決に取り組む中で、積極的に社会に関わり、自己の生き方を考え、自らの生活や行動に生かそうとしている。	

#### (2) 単元の評価基準（本校で育成を図る資質・能力のルーブリック）

知識・技能および 資質・能力		B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
主体的に学習に取り組む態度	【主体性】 自分で決めて行動する力	タコや漁業について調べたり、情報をまとめたりする際に、自分で課題を決めて、目的に合う方法で課題を解決しようとしている。	タコや漁業について調べたり、情報をまとめたりする際に、自分で課題を決めて、目的や状況に合う方法で、自分から課題を解決しようとしている。
	【協働性】 みんなと協力する力	グループで活動する際に、自他の意見を大切にしながら友達と話し合い、一緒に行動しようとしている。	グループで活動する際に、友達の意見を取り入れながら話し合い、よりよいものを目指して行動しようとしている。
思考・判断・表現	【探究力】 問い続ける力	タコや漁業に関わる問いを見つけ、答えを予想したり調べたりしている。	タコや漁業に関わる問いの答えを予想したり調べたりする中で、情報を結び付けて新しい問いを見つけている。
	【論理的思考力・表現力】 筋道立てて考え、豊かに表現する力	意見を交流したり、発表したりする際に、筋道立てて思考し、自分の考えと根拠を表現している。	意見を交流したり、発表したりする際に、相手や目的を意識し、方法や内容を工夫して表現している。
知識・技能		タコや漁業にかかわる知識や ICT 機器や思考ツールを活用する技能を身に付けている。	身に付けた知識・技能を学習や生活の中で活用している。

4 指導計画 (全 48 時間 本時 31/48) ♥ : 三原だるまプラン「ショックー発型」

	探究の過程 資質・能力	学習活動	評価方法
テーマ決定・仮の探究課題の設定・探究	課題の設定 主 論 探 情報の収集 整理・分析 協 主 論 知 協 主 自 まとめ・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 昨年の活動を振り返り、今年度やってみたい活動を出し合う。(1)</li> <li>○ やってみたい活動を集約した結果から、今年度前半に行う活動を決定すると共に、子どもルーブリックのA評価について話し合う。(1)</li> <li>○ 決定した子どもルーブリックを共有し、タコについての疑問を書き出す。(1)</li> <li>○ タコについての疑問をインターネットや本等で調べる。(2)</li> <li>○ 探究課題を設定する。(1)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     仮の探究課題：めざせ！三原のタコ博士！                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 探究課題を達成するために必要なことを書き出し、計画を立てる。(1)</li> <li>○ タコやタコ漁について映像や画像を見て、興味を深めたり、新しい疑問をもったりする。(2)【自己評価】</li> <li>○ 調べても分からなかった疑問から、漁師さんへの質問をまとめる。(1)</li> <li>○ 質問の仕方、聞き取りメモの取り方を確認する。(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージマップ</li> <li>・ノート</li> <li>・計画書</li> <li>・ノート</li> <li>・質問シート</li> <li>・行動観察</li> </ul>
真の探究課題の設定・探究	情報の収集 整理・分析 主 論 探 課題の設定 情報の収集 整理・分析 協 主 論 知 まとめ・表現 論 協 自	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 水産教室に参加し、三原市漁業協同組合の方にインタビューをして、自分達で調べて分からなかった疑問を解決する。(2)【自己評価】</li> <li>○ 水産教室で得た情報を整理し、感想を話し合う。(1)</li> <li>○ ニュース等の情報も加え、三原のタコについての知識を増やす。(1)</li> <li>○ 三原のタコについて知った事実から伝えたいことをまとめ、動画を作成する。(4)</li> <li>○ 事実を基に、自分達にできることは何かを考える。(1)</li> <li>♥ 三原のタコの不漁が深刻化している！この課題を解決せねば！</li> <li>○ 探究課題を達成するためにどんな活動ができそうか考える。(1)</li> <li>○ 活動の目的・相手・内容について話し合い、計画を立てる。(1)</li> <li>○ 表現方法を比較し、かるた作りに取り組むことを決定する。(1)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     真の探究課題：守れ！三原やっさタコ！                      ～タコかるたで魅力や危機を伝えよう～                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ どのようなかるたになれば、魅力や危機を伝えられるか話し合う。(1)</li> <li>○ グループで協働して成果物(かるた)を作成する。(3)</li> <li>○ 成果物(かるた)の配付先や活用方法について話し合う。(1)</li> <li>○ 目的が達成できる成果物になっているかを評価し合い、改善点について考える。(3) 本時【自己評価・相互評価】</li> <li>○ グループで協働しながら、成果物(かるた)を改良・作成する。(3)</li> <li>○ 成果物(かるた)で実際に遊び、感想を交流する。(1)</li> <li>○ グループで協働しながら、成果物(かるた)を完成させる。(2)</li> <li>○ 発信先(児童館や老人介護ホーム等)と連絡を取り、成果物を届けるための計画を立て、発信先に成果物を届ける。(2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問シート</li> <li>・感想文</li> <li>・ノート</li> <li>・ピラミッドチャート</li> <li>・計画書</li> <li>・ノート</li> <li>・ジャムボード</li> <li>・ノート</li> <li>・ワークシート</li> <li>・成果物</li> </ul>
活動のまとめ・評価	まとめ・表現 協 主 論 理 将	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校内でのかるた大会について計画を立て、実行する。(3)</li> <li>○ 届いた感想を読む。(1)【外部評価】</li> <li>○ 活動について振り返る。(1)【自己評価】</li> <li>○ 次の探究活動に向けて、ルーブリックを修正する。(1)</li> <li>○ 本単元の学習を振り返る。(1)</li> <li>○ 自己の成長について発表し合う。(1)【相互評価】</li> <li>○ 次の学習テーマや活動について、興味関心を話し合う。(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート</li> <li>・感想文</li> <li>・OPPA</li> </ul>

5 本時の学習

(1) 本時の目標

かるたを作成する目的と関連付けて、読み札に対する気付きや感想、改善案を表現することができる。

(2) 本校で育成を図る資質・能力の評価基準（論理的思考力・表現力のルーブリック）★

B：理由とともに自分の考えを表現している。

A：目的や相手と関連付けながら、改善の理由を明確にして自分の考えを表現している。

(3) 本時の展開

	学習活動	○指導・支援 ★評価（評価方法）
導入	1 前時の学習内容を確認する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の班が作った「タコかるた」を検討した。</li> <li>・魅力や危機が伝わる「タコかるた」になっているか、話し合いブラッシュアップした。</li> </ul> </div>	○ 前時までの推敲の結果や付箋のルール、かるたの目的・相手などを掲示しておくことで、本時の活動にスムーズに入れるようにしておく。
	2 本時の問い、課題、探究の過程、本時で育成をめざす資質・能力を確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">                     問い：魅力や危機が十分伝わるようなタコかるたになっているかな？                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">                     課題：理由をはっきりさせて、タコかるたをブラッシュアップする。                 </div>	○ 児童から引き出した問いから、本時の課題を設定し、探究の過程、資質・能力を確認し、ふり返りの視点を示しておく。
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整理・分析</li> <li>・論理的思考力・表現力</li> </ul>	
展開 ①	3 作成した2つの班の説明を聞く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">                     作成した思いや工夫、困っていることについて説明を聞きましょう。                 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山立ては、三原のタコつぼ漁ならではのから、この言葉は残したい。文が読みやすくなっているか心配。</li> </ul> </div>	○ 推敲するねらいや作り手への敬意をもつことを確認する。  ○ 班ごとに担当するかるたを決めておくことで、どちらのかるたに対しても意見が出るようにする。もう一方のかるたに対して付箋を書くこともできるようにする。
	4 読み札に対する自分の考えを表現する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">                     ジャムボードを使って、付箋によさや気付き、アドバイスを書き込みましょう。                 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>【読み札】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三原の漁師さんは山立てをしてタコつぼを見つけて漁をしているよ！</li> </ul> <p>【よさ】 ピンク色</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁師さんのすごさが書かれている。</li> <li>・山立ての様子がうまく絵札に描かれている。</li> </ul> <p>【気付き】 青色</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文が長すぎる。</li> <li>・山立ての説明がない。</li> </ul> <p>【改善案】 黄色</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「目印なしで海底のタコつぼを見つけられる！」</li> </ul> </div>	○ 前時までに推敲したかるたや作成ポイントを掲示しておくことで、付箋に書く内容が確かめられるようにする。  ○ 付箋に記名させることで、誰の考えか判別できるようにする。  ○ 児童のタイピング技術を考慮し、ジャムボードとワークシートの両方を用意しておく。
10分		

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">展開②</p> <p style="text-align: right;">20分</p>	<p>5 協働してジャムボードを整理し、発表内容を決める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">       気付きや改善案について話し合い、必ず伝えた方がよいものを3つまで選びましょう。     </div> <p>6 全体で共有し、「タコタコかるた」の改良について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">       それぞれの班から主な気付きや改善案について説明してもらいましょう。     </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>C 読み札が長くなっているの、低学年だと分かりにくいと思いました。だから「山立てでタコつぼ発見。」みたいに短くすればいいと思います。</p> <p>T 同じように「短くする」改善案について出てきた意見はありますか。</p> <p>C 短くするのは同じだけど、三原のタコかるたなので、「三原の漁師さん」という言葉は省略してもいいと考えました。</p> <p>C 山立てがどんなものなのか説明がなくて、タコつぼ漁のすごさがあまり伝わらないと思いました。でもいい改善案が思いつきませんでした。</p> <p>T 山立てのすごさを伝える改善案について話し合った班はありますか。</p> <p>C 「目印なしで海底のタコつぼを見つけられるよ！」という説明を考えました。</p> </div>	<p>○ 班ごとにジャムボードを配付し、整理させることで、全員が情報共有できるようにする。</p> <p>○ 班の発表を位置づけることで話し合いへの参加を促す。</p> <p>○ 各班のジャムボードを画面に提示して主な意見を発表し合う。</p> <p>○ 意見や指摘に対する反応（賛同、質問、反対など）の話型を示しておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">       必要に応じて、教師が学び合いをファシリテートする。  <b>【意見を引き出すファシリテーション】</b>        ・作成班は、みんなのジャムボードを見て、有効そうな意見や反論したい意見がありませんか。        ・○班では、～という付箋があるね。これも似ている意見かな。みんなに教えて。  <b>【整理し、まとめるファシリテーション】</b>        ・もらった意見の中で特に有効だと思ったものはあったかな？     </div> <p>○ かるた作りの目的と相手を意識させることで、理由を明確に示しながら自分の考えたことが説明できるように指導する。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめ</p> <p style="text-align: right;">10分</p>	<p>7 学習したことをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">       今日のかるたに対して、特に有効だと考えた気付きと改善案を記録し、その理由を書こう。     </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">       ・漁師さんのすごさを説明できたらいいと思う。だから「目印なしで海底のタコつぼを見つけられる。」という短い説明はとってもいいと思う。     </div> <p>8 学習の振り返りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">       今日の振り返りを書こう。     </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">       ・いろいろな意見をももらったけど、目的をちゃんと考えて、自分たちのかるたに必要な意見を見つけることができた。        ・目的や相手と関係づけて考えると、理由をしっかりと友達に説明することができた。        ・友達と交流したら、自分では思いつかなかった改善案があったので、考えが深まりました。     </div>	<p>○ ジャムボードや黒板を参考に、自分の考えを改めて表現させ、思考を整理することができるようにする。</p> <p>★ 本校で育成を図る資質・能力の評価（まとめ用のクラスルームの“質問”機能）</p> <p>○ 振り返り用のクラスルームの“質問”機能に回答させることで、互いの振り返りの内容を児童が確認できるようにする。</p>

(4) 板書計画

10/25 守れ！三原やっさタコ！

A かるたの目的・相手を意識

整理・分析

論理的思考力・表現力

B 自分の考え&理由

②

魅力や危機が十分伝わるような  
タコかるたになっているかな？

③

○班のかるたには、～という改善案が有効だと思う。理由は、・・・から。

④

理由をはっきりさせて、タコかるたをブラッシュアップする。

作成ポイント

読み札 作成	① 読み札の 「絵」・「読み」 が伝わるか	② 大切な言葉 （事件や 語）が入っ ているか	③ 短くて分が りやすいか	リズム よく読 めるか
絵札 作成	④ 大きくて長 やすい絵札 か	⑤ 似ている絵 札はないか	⑥ 読み札に 合った絵札 になっているか	
両方	⑦ 興味をも た、楽しく なれそうか	⑧ 読べたく なつたは好 まじなつた りしそつか	⑨ 言葉のつら さ、長さ・音 を調整してい るか	

○班のかるた

△班のかるた

絵 札	読 み 札
--------	-------------

絵 札	読 み 札
--------	-------------

★本時で意識した資質・能力

- ・～したら、～することができました。
- ・～する力がのびました。
- ・はじめは～だったけど～できた。

作成班の思い  
・・・だから、～  
したい。  
・・・ことが心  
配。

作成班の思い  
・・・だから、～  
したい。  
・・・ことが心  
配。